

地球環境と産業化研究会（SGEIS）

「気候変動問題に若者がどのように取り組むかの基礎講座」実施報告書

概 要

テ ー マ：気候変動問題に若者がどのように取り組むか

内 容：「気候変動」は、環境破壊や自然災害、異常気象、食料不安と水不足、経済の混乱、紛争やテロを助長するなど、平和や社会の安定を脅かす大きなリスクになっています。

講義では、日本国内で早期に大幅な温室効果ガス排出量削減を果たすためのアクションプランを紹介いただくともに、その目標の実現には将来の社会を担う若者の意見を考慮することが必須であることや、それを集約し統合したメッセージとして社会や行政機関などに発信するための方策についても言及いただきました。次いで、地域で活動する若者の取り組み事例を紹介いただき、「気候変動問題に若者がどのように取り組むか」について参加者の皆さまと考えました。

【講 義】IGES 1.5°C ロードマップとその実現に向けて—若者が主役

（公財）地球環境戦略研究機関 関西研究センター リサーチマネージャー 田中勇伍 氏

【発 表】若者の活動状況と今後の課題

①ブルーカーボンの実現とグリーンカーボンの実現はどちらのほうがカーボンニュートラル実現に近づき、どのような効果があるか？ 神戸大学附属中等教育学校 吉田智哉

②エネルギーシェアリングの将来性について 兵庫県立三田祥雲館高等学校 金光茉帆
兵庫県立星陵高等学校 長谷川陽花、宮崎友里

日 時：2024年7月25日(木)13時30分～15時40分

13:30～13:40 主催者挨拶・進行について

13:40～14:35 講 義（講義40分、質疑応答15分）

14:35～15:05 発表①（発表10分、意見交換20分）

15:05～15:40 発表②（発表20分、意見交換15分）

15:40 事務局連絡・終了

場 所：中央区文化センター(神戸市中央区東町115番地)11階 会議室 1112

主 催：地球環境と産業化研究会

参加者：14名、うち生徒5名（18名、うち学生1名、生徒5名）（ ）の数字は参加申込者数

配布物

- 田中勇伍、『1.5°C ロードマップ』

- 吉田智哉、『ブルーカーボンの実現とグリーンカーボンの実現はどちらのほうがカーボンニュートラル実現に近づき、どのような効果があるか？』
- 岡田成翔、長谷川陽花、金光茉帆、宮崎友里、中西来斗、『エネルギーシェアリングの将来性について』
- SGEIS 第 10 回基礎講座の案内チラシ、SGEIS 活動内容の紹介チラシなど

内 容

- **【講義】 IGES 1.5°C ロードマップとその実現に向けて—若者が主役**
 - ①気候変動問題について
 - ・人間の生存に適したな地球環境は、「気候変動」と「汚染・廃棄物」、「生物多様性の喪失」の三重危機に晒されており、それらは密接に関係（シナジー/トレードオフ）している。
 - ・「1.5°Cは政治的目標ではなく物理的限界」であり、1.5°Cと2°Cとは大きな違いがある。
 - ②IGES 1.5°C ロードマップについて
 - ・温室効果ガスの累積排出量を 1.5°C目標に資する水準に抑えつつ、豊かな社会を実現する道筋を明らかにしている。
 - ・脱炭素は事業機会であり、1.5°Cへの道筋のどこに好機があり、企業や政府の取り組みを後押しする市民・消費者の意思表示が重要である。
 - ③脱炭素時代のシティズンシップについて
 - ・1.5°C目標の実現には将来の社会を担う若者の意見を考慮することが必須である。
 - ・県内での若者を対象にしたシティズンシップを育むための取り組みや、世界で気候変動対策を訴える若者たちの取り組みが多々ある。

質疑で3名の発言があった。「温暖化の進行は？」、「エネルギー起源のCO₂を減らすための身近でできる行動は？」、「日本が全力でやることでの世界全体への効果は？」などについて議論された。

- **【発表】 若者の活動状況と今後の課題**
 - ①ブルーカーボンの実現とグリーンカーボンの実現はどちらのほうがカーボンニュートラル実現に近づき、どのような効果があるか？
 - 「神戸市のブルーカーボン事業」、「リュウスガモによるCO₂吸収量の実験」、「日本におけるブルーカーボンとグリーンカーボンのCO₂吸収量の試算」についての研究結果を発表いただいた。
 - 「ブルーカーボンのCO₂吸収能力の検証」、「課題研究の今後の進め方」などについて、発表者と参加者との間で意見交換が行われた。
 - ②エネルギーシェアリングの将来性について

「地域活性化を目的に、温暖化対策にもつながる太陽光発電を利用した、地域（淡路島・神戸市）間でのエネルギーシェアリングの仕組み」、「両地域でのエネルギー消費の実態」、「エネルギーシェアリング構想の実現方法と課題」についての検討結果を発表いただいた。

「1.5°C ロードマップの実現に向け有力な方策の一つか?」、「この構想をどう実現していくか?」などについて、発表者と参加者との間で意見交換が行われた。



以上(世話人 土井淳 記)